

竜串自然再生でつながる人の輪、地域の輪

流域でつながる

山の人、海の人 が連携した取り組み「もいかくらぶ」始動!



地元の漁師さんをはじめとした関係者24名が参加!

海から山へのアプローチも継続中!



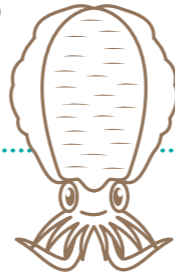
海で活躍するダイバーや観光関係者が山へ行き、間伐ボランティアを行っています。平成22~23年には5回実施!

先に行われた竜串自然再生協議会の幹事会で、自然再生の取り組みの輪をより広げていくためには、山や海の守り人である林業者、漁業者、海域利用者がもっと交流を図る必要があるという意見が出されました。

そこで今年から、海と山の人 が連携して「間伐材を使ったアオリイカ(モイカ)の産卵床づくり」に取り組むことになり、その名も「もいかくらぶ」という活動グループが立ち上げられました。

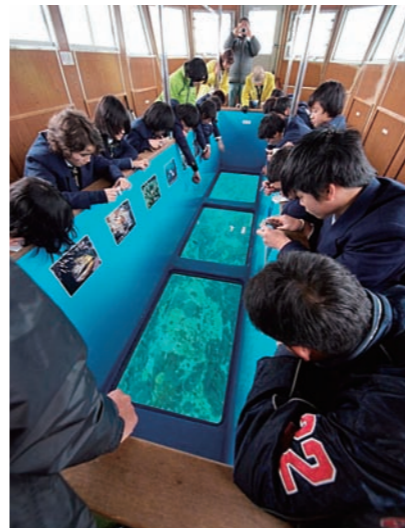
この「もいかくらぶ」の記念すべき第1回目の集まりが、平成24年2月17日に竜串ふれあいセンターにて開催されました。まずは、協議会委員の黒潮実感センター 神田優さんに、柏島で行われている間伐材を用いたモイカの産卵床づくりについて紹介してもらいました。柏島ではアオリイカという海の資源をふやすだけでなく、環境学習のプログラムとしても大いに活用されており、高い評価を受けています。その後、竜串湾で実際に取り組みを進めるうえでの課題等について活発な意見交換が行われました。

海の人と山の人 ががっちり手を組んだ「もいかくらぶ」の今後の活動に期待が集まっています!



地域外の子どもたちとつながる

四万十高校の生徒に竜串の自然と自然再生の取り組みを紹介



グラスボートでのサンゴ見学

平成24年1月19日、高知県立四万十高校の1年生が竜串を訪れ、協議会委員である黒潮生物研究所を中心に、さまざまな地域の方々、施設等の協力で竜串を案内しました。

四万十高校は山間部にあるため、生徒たちは海に関する授業に興味津々。竜串自然再生の講義のほか、足摺海洋館の大水槽餌やり体験、グラスボートでのサンゴ観察、奇岩トレッキング、海のギャラリー(貝類展示館)見学など、竜串を存分に満喫してもらいました。

その後、竜串の自然をもっと楽しむためのアイデア、海の環境を守るために自分たちができること、という2つのテーマで、全員でディスカッション。「新しいマリンスポーツの開発が必要。シュノーケリングしながら釣る」、「山から海まで自然再生トライアスロン(見学プラン)を企画する」、「サンゴ育成セットを学校に配布する」、「海中歩道や海上宿泊施設を作る」といった高校生らしい自由なアイデアをたくさん出してくれました。

竜串には素晴らしい自然があるだけでなく、見学施設も充実し、サンゴや奇岩など自然の語り部も多数いることから、これを機に環境学習の受け入れ体制づくりが期待されます。



海のギャラリーでは、貴重な貝類を収集した洋画家の黒原和男さん自らが解説してくれました



ディスカッション後の発表会

世代間でつながる

三崎小学校での環境教育がプログラムとして定着

地元の土佐清水市立三崎小学校では、子どもたちが竜串の自然を理解することで、地域に愛着を持ち、未来の「自然の守り手」となってくれることを目的とした環境教育が、平成17年度から行われています。環境省がコーディネイト役となり、協議会委員も講師として多数参加し、みんなが日頃取り組んでいることを素材とした授業を行っています。

具体的な内容は毎年少しずつ変わってはいますが、例年、「海」「川」「山」「地域」「伝える」という5つの単元で1年を通じて授業を実施。また、子どもたちに竜串自然再生をわかりやすく伝えるパンフレットも昨年度作成し、教材として活用しています。

このように竜串自然再生協議会の環境教育の取り組みはプログラムとして定着しつつあります。

●平成23年度は「三崎の自然~自分たちの海山川を知る~」というテーマで13回実施!

●6月28日
●魚についての学習



海 講師:足摺海洋館 京谷直喜氏

●7月4日
●サンゴについての学習



海 講師:黒潮生物研究所 中地シュウ氏

●7月8日
●貝類についての学習



海 講師:日本貝類学会 黒原和男氏

●9月7日
●シュノーケリング体験



海 講師:竜串ダイビングセンター 佐野美月氏

●9月8日・9日
●仕掛け作りと設置・川の生きもの調べ



川 講師:魚と山の空間生態研究所 山下慎吾氏

●1月23日
●足摺海底館ガイド学習



地域 講師:足摺海底館 文野翔太氏

●1月13日
●竜串の自然再生の取り組み



地域 講師:環境省土佐清水自然保護官事務所

●12月13日
●間伐現場見学と間伐体験



山 講師:土佐清水市森林組合 山下林栄氏

●11月28日
●竜串のお仕事インタビュー



地域 協力:足摺海洋館・足摺海底館 竜串案内所・ダイビングセンター

●11月17日
●行者山で森の生きもの観察



山 講師:環境省土佐清水自然保護官事務所

●10月17日
●グラスボートで見残し奇岩観察



海 講師:竜串観光汽船 竹葉秀三氏



竜串自然再生の取り組みをイラストいっぱいでお知らせするパンフレット(環境省作成)

●3月9日
●足摺海底館子どもガイド



伝える 協力:足摺海底館

●2月26日
●校内発表



伝える